

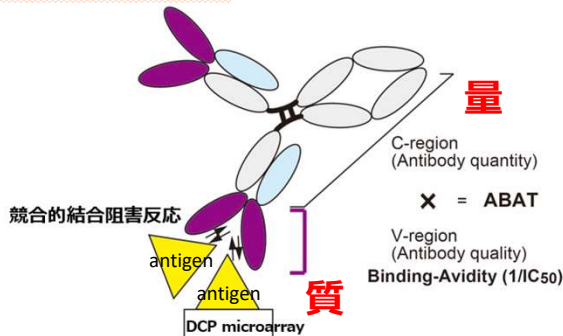
抗原結合親和性抗体価測定のご案内

AMED JP19he2302005の支援事業

【検査のメリット】

- アレルギー確定診断 (OFC)のデータを補足し、**個々の患者のOFC陽性・陰性を予測**
(Gateway精密検査：食物負荷試験前にアレルギー発症可能性を評価)
- 低親和性IgE抗体の検出 (安全な食物摂取量の同定、食事指導に役立つ)
- アレルギー治療効果の経時的モニター (経口免疫療法の治療効果をモニターし、個々の患者の現在の立ち位置を把握)

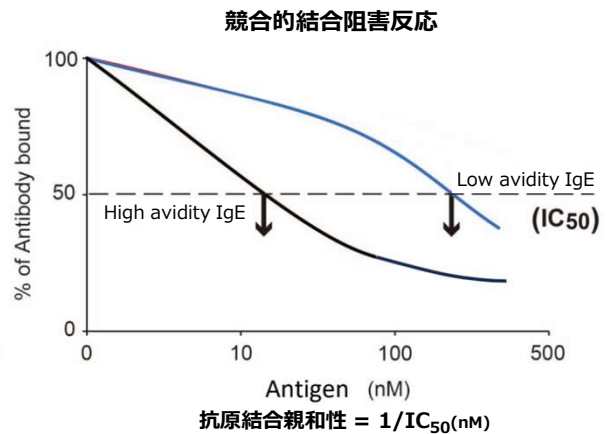
1. 抗原結合親和性抗体価 (ABAT) とは？ 抗原を捕捉する力を数値化



抗原結合親和性抗体価：ABAT
(antigen binding-avidity antibody titer)

従来からの抗体量測定に代わって量×質で評価

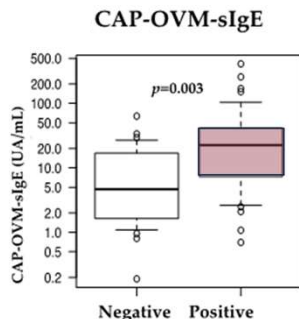
2. 固相化アレルゲンと添加アレルゲン間の抗体を介する競合的結合阻害活性 (IC₅₀) 値を測定



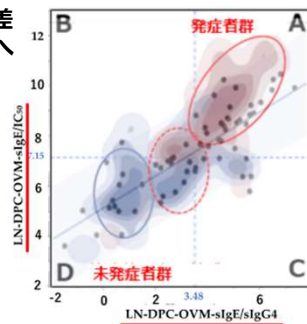
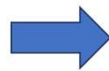
3. 食物負荷試験陰性者を明確に判別

Nutrients, 2023,15(12):2770

(検査者：n = 63)



従来の統計学的有意差評価から個別化評価へ



Binding Avidityを用いた sIgE/IC₅₀と、sIgE/sIgG4をそれぞれY軸、X軸に示した右図では、ROC解析に基づくそれぞれに Cut off値で示した4分割2次元図において、領域DのOFC陰性者は、左図と違い検査値で**アレルギー発症の陽性/陰性(治療効果あり)と区別できた。**

現行のImmunoCAPによるOVM sIgEの測定値では、陽性群と陰性群の統計学的有意差は検出されるが、**個々の患者の陽性・陰性判断は、困難である。**

研究用検査
アレルゲン特異的抗体 (IgG1, IgG4, IgA, IgE)検査
アレルギー抗原親和性抗体価 (Avidity) 検査

	アレルゲン			必要検体量	保存方法
	卵白	卵黄	卵清		
特異的IgE検査	卵白	卵黄	卵清	血清 100 µL	冷凍 -25℃
特異的IgG1検査	牛乳	小麦	大豆		
特異的IgG4検査	ソバ	ピーナッツ	エビ		
特異的IgA検査	サケ	カニ	マクロ		
	ハウスダスト	ヤケヒョウヒダニ	コナヒョウヒダニ		
	イヌ皮膚	ネコ皮膚	スギ		
	ヒノキ	シロカンバ	ハンノキ		
	ハルカヤ	カモガヤ	ブタクサ		
	オオアワガエリ				
	オボムコイド	オボアルブミン	カゼイン		
	α-カゼイン	β-カゼイン	β-ラクタログロブリン		
	グルテン	グリアジン	Ara h 1		
	Ara h 2	Cry j 1	Cry j 2		
	Der f 1	Der f 2			
	検査項目	必要検体量	保存方法		
アレルギー抗原親和性抗体価 (Avidity) 検査	オボムコイド	カゼイン	Der f 1 Der f 2 Cry j 1 Cry j 2	血清 100 µL	冷凍 -25℃



DCPチップ製造・検査受託

検査のご相談・ご依頼は下記の連絡先までお問い合わせください。

お問い合わせ先：
応用酵素医学研究所株式会社

住所 : 徳島県徳島市東沖洲2丁目1-7
E-mail : info@americ.co.jp
U R L : <http://www.americ.co.jp/>
TEL/FAX : 088-678-4168 / 088-678-4169